

平成24年度決算報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日まで)

1. 収入及び収益

		＜本年度＞				(単位:百万円)	
収入の部		平成22年度	平成23年度	平成24年度	前期比	増減率	構成比
全体収入 (A + B)		3,093	3,397	3,369	28	-0.8%	100.0%
コスモス病院 A		2,443	2,486	2,447	39	-1.6%	72.6%
病院収入の内訳	入院収入	1,965	2,023	1,981	42	-2.1%	58.8%
	外来収入	320	313	323	10	3.2%	9.6%
	受託検査収入	67	55	51	4	-7.3%	1.5%
	その他医業収入	91	95	92	3	-3.2%	2.7%
その他部門 B		650	911	922	11	1.2%	27.4%
その他部門の内訳	老健施設 南山園	258	515	498	17	-3.3%	14.8%
	市民健康管理センター	171	168	177	9	5.4%	5.3%
	訪問看護ステーション	64	64	68	4	6.3%	2.0%
	介護支援センター	31	39	50	11	28.2%	1.5%
	ケアステーション	61	60	50	10	-16.7%	1.5%
	地域包括支援センター	60	60	73	13	21.7%	2.2%
	臼杵市医師会	5	5	6	1	20.0%	0.2%
収益の部		平成22年度	平成23年度	平成24年度	前期比	増減率	構成比
全体収益 (C + D)		62	216	27	189	-87.5%	0.8%
コスモス病院 C		69	206	52	154	-74.8%	1.5%
その他部門 D		7	10	25	35	-350.0%	-0.7%
その他部門の内訳	老健施設 南山園	10	39	13	26	-66.7%	0.4%
	市民健康管理センター	9	17	10	7	-41.2%	-0.3%
	訪問看護ステーション	2	2	2	0	0.0%	0.1%
	介護支援センター	2	3	3	6	-200.0%	-0.1%
	ケアステーション	5	0	3	3	-	-0.1%
	地域包括支援センター	2	5	10	5	100.0%	-0.3%
	臼杵市医師会	13	12	14	2	16.7%	-0.4%
全体・最終損益		平成22年度	平成23年度	平成24年度	前期比	増減率	収入比
経常利益 E	91	228	41	187	-82.0%	1.2%	
特別損益 F	29	12	14	2	16.7%	-0.4%	
当期純利益 (E + F)	62	216	27	189	-87.5%	0.8%	

老健施設 南山園は平成22年10月に統合

各部門構成比は全体収入に対するもの

(1) 全体の収入及び収益

全体の収入は3,369百万円(前期比28百万円減)、全体の収益は27百万円(前期比189百万円減)と減収減益となりました。

収入内訳

収入内訳は病院収入が2,447百万円(前期比39百万円減)の減収となりましたが、その他部門は922百万円(前期比11百万円増)の増収となりました。

収益内訳

収益内訳は病院収益が52百万円(前期比154百万円減)の黒字となりましたが、その他部門は25百万円(前期比35百万円減)の赤字といずれも前期比減益となりました。

(部門別収入及び収益)

8部門中黒字部門は3部門、増収増益部門は1部門となりました。

(単位:百万円)

部門	今 期		前 期 比		
	収入	収益	収入	収益	備考
1 コスモス病院	2,447	52	39	154	減収減益
2 老健施設 南山園	498	13	17	26	"
3 市民健康管理センター	177	10	9	7	増収増益
4 訪問看護ステーション	68	2	4	0	増収前期並
5 介護支援センター	50	3	11	6	増収減益
6 ケアステーション	50	3	10	3	減収減益
7 地域包括支援センター	73	10	13	5	増収減益
8 臼杵市医師会	6	14	1	2	"
全体 計	3,369	27	28	189	減収減益

(2) コスモス病院収入

入院収入

入院収入は1,981百万円(前期比42百万円減)となりました。

要因は入院患者数延べ60,884名(前期比993名減)、1日平均166.8名(前期比2.3名減)、病床利用率82.6%(前期比1.1%減)と減少したためです。

入院点数は197,290千点(前期比3,938千点減)と減少し、1人/平均点数も3,240点(前期比13.5点減)と低くなっています。

外来収入

外来収入は323百万円(前期比10百万円増)となりました。

要因は外来患者数延べ30,676名(前期比885名増)、1日平均84.1人(前期比2.7名増)と増加したためです。

又、外来点数も31,794千点(前期比1,400千点増)と増加しました。1人/平均点数も1,575点(前期比554点増)と高くなっています。

(3) 市民健康管理センター

収入は177百万円(前期比9百万円増)となりましたが、収益は経費の増加により10百万円(前期比7百万円増)の赤字にとどまりました。経費増の要因は前期より本事業を一般社団法人の公益目的事業として申請するため、本事業に関わる病院職員の人件費の按分方法を見直したためです。

(4) 訪問看護ステーション・介護支援センター・ケアステーション・地域包括支援センター

訪問看護ステーション

訪問看護収入は68百万円(前期比4百万円増)となりましたが、パート人員1名増により収益は2百万円の黒字(前期並)と前期並みとなりました。

介護支援センター

介護支援センター収入は介護支援センター南山の統合(ケアマネ4名増)により、50百万円(前期比11百万円増)となりましたが、収益は給与費の増加や加算の減少により3百万円の赤字(前期比6百万円減)となりました。

ケアステーション

ケアステーション収入は利用者数の減少により50百万円(前期比10百万円減)となり、収益も3百万円(前期比3百万円減)の赤字となりました。

地域包括支援センター

地域包括支援センター収入は市からの委託料増加により73百万円(前期比13百万円増)となりましたが、収益はケアマネ等の人員増加により10百万円の赤字(前期比5百万円減)となりました。

2. 全体経費

(単位:百万円)

経費	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前期比	年率	収入比
給与費	1,888	2,035	2,118	83	4.1%	62.9%
材料費	378	413	398	15	-3.6%	11.8%
委託費	194	224	235	11	4.9%	7.0%
設備関係費	297	265	280	15	5.7%	8.3%
研究研修費	8	8	13	5	62.5%	0.4%
一般経費	263	278	284	6	2.2%	8.4%
計	3,028	3,223	3,328	105	3.3%	98.8%

(旧医師会部門と南山園部門の経費内訳)

(単位:百万円)

経費	平成23年度		平成24年度		対比	
	旧医師会	南山園	旧医師会	南山園	旧医師会	南山園
給与費	1,737	298	1,822	296	85	-2
材料費	396	17	381	17	-15	0
委託費	166	58	175	60	9	2
設備関係費	217	48	232	48	15	0
研究研修費	7	1	12	1	5	0
一般経費	234	44	240	44	6	0
計	2,757	466	2,862	466	105	0

(1) 全体経費

全体経費は看護師募集等による給与費増により3,328百万円(前期比105百万円増)となりました。内訳は旧医師会部門2,862百万円(前期比105百万円増)、南山園466百万円(前期並)となっています。

(2) 給与費

給与費は2,118百万円(前期比83百万円増)となりました。内訳は旧医師会部門1,822百万円(前期比85百万円増)と南山園296百万円(前期比2百万円減)となっています。給与費率は以下のとおりです。

(単位:%)

部門	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減
病院	56.8	58.6	57.4	56.2	59.2	3.0
その他部門	78.2	76.1	75.6	86.1	87.9	1.8
南山園	-	-	73.6	57.9	59.5	1.6
全体	59.4	60.8	61.0	59.9	62.9	3.0

(3) その他経費

・材料費は手術件数の減少(前期比13件減)等により、398百万円(前期比15百万円減)と減少しました。

・委託費は235百万円(前期比11百万円増)となりました。旧医師会部門は175百万円(前期比9百万円増)と南山園60百万円(前期比2百万円増)となりました。旧医師会部門の増加要因は遠隔画像診断料8百万円の増加によるものです。

・設備関係費は280百万円(前期比15百万円増)となりました。旧医師会部門は232百万円(前期比15百万円増)と南山園48百万円(前期並)となりました。旧医師会部門の増加要因は増築した新棟の減価償却費15百万円増によるものです。

・一般経費は284百万円(前期比6百万円増)となりました。旧医師会部門は240百万円(前期比6百万円増)、南山園部門は44百万円(前期並)となりました。

3. 医業外損益

(単位:百万円)

医業外損益	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前期比	増減率	収入比
医業外収益	60	86	33	53	-61.6%	1.0%
医業外費用	35	32	32	0	0.0%	0.9%
収支	25	54	1	53	-98.1%	0.0%

- (1) 医業外収益は、前年度の設備補助金70百万円(遠隔画像診断装置等)に対し、今年度は在宅医療連携拠点事業18百万円と減少したため、33百万円(前期比53百万円減)となりました。
- (2) 医業外費用は新棟増築資金130百万円と医療機器購入資金50百万円の借入を行ったため、借入金残高1,368百万円(前年度比73百万円減)となり、医業外費用は横ばいとなりました。

ご参考:長期借入金残高推移

(単位:百万円)

年度	旧医師会部門	増減	南山園	増減	計	増減
平成22年度	1,011	-190	590	590	1,601	400
平成23年度	888	-123	553	-37	1,441	-160
平成24年度	856	-32	512	-41	1,368	-73

4. 特別損益

特別損失は14百万円(前期比2百万円減)を計上しています。内容は退職給付引当金6百万円と南山園との統合時の消費税(5年分割支払20百万円)の2年分の8百万円を損失として計上しています。

5. 当期利益

当期利益推移表

(単位:百万円)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
当期利益	56	62	2	17	62	216	27
増減	-18	6	-60	15	45	154	-189

ご参考:減価償却前利益

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	増減
当期利益	62	2	17	62	216	27	-189
減価償却費	195	204	195	192	177	188	11
償却前利益	257	206	212	254	393	215	-178

当期利益は27百万円(前期比189百万円減)となり、減価償却費を加えた償却前利益も215百万円(前期比178百万円減)となりました。

6. 公益目的支出計画について

今年度より一般社団法人への移行に伴い、公益目的実施事業として市民健康管理センター、介護支援センター、地域包括支援センター、大学寄付金の4部門の公益支出により約33年間で終了する公益目的支出計画を大分県に提出します。

(概算)	時価評価純資産 852百万円	÷	年間公益目的事業損失 約 26百万円	=	支出期間 約33年間
------	-------------------	---	-----------------------	---	---------------

平成24年度は下期以降の入院患者の大幅減少により厳しい決算となりました。平成25年度は一層の患者サービスの向上を図り、会員の先生方から紹介されやすい病院づくりに邁進します。又、その他部門との連携強化に努め医師会が一体となって地域医療の充実に取組みたいと考えますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上